

※「P」はページを「L」は行を指します。

一時間目

◎「漢字の学習」P2・3の上段を練習しましょう。毎週四時間目に確認テストがありますので、それまで三時間の十問ずつについて、しっかり身につけていきましょう。新出漢字の“なぞり”も忘れずに。

〈本時のねらい〉全文を読み、重要語句、あらすじ、人物像を捉えよう。

①教科書P一八「アイスプラネット」の題名からアイス(＝氷)プラネット(＝惑星)とはどんなものなのか想像しましょう。

②「僕」「ぐうちゃん」「母」「父」がどんな人なのか考えながら、全文をじっくり読み通してみよう。

③ワークのP六・七の「調べる」「漢字」を答え、「語句」「短文」を辞書を使って調べ、答えを書き入れよう。自分で考えたり調べたりした答えを書き入れたら、「解答と解説」を使って○付けをしよう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましよう。おうちに辞書がなければ、「解答と解説」を赤ペンで丁寧に写しても構いません。今後の課題についても同様です。

④本時はここまです。時間があれば、本文をもう一度読んでおきましょう。

二時間目

◎「漢字の学習」P2・3の中段を練習しましょう。毎週四時間目に確認テストがありますので、それまで三時間の十問ずつについて、しっかり身につけていきましょう。新出漢字の“なぞり”も忘れずに。

〈本時のねらい〉「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いの変化を読み取ろう。

①教科書P一八の初めからP一九・L一四を読み、ワークP七のA(1)(2)を答えましょう。

「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましよう。

②教科書のP一九L一五～P二二L一四までを読み、ワークP七のB1からP八の4までの間に答えましよう。

「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましよう。

③教科書P二二L一五～P二四L4を読み、ワークP八の5からP九の7までの間に答えましよう。

「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましよう。

④本時はここまです。時間があれば、本文の初めからP二四L4までをもう一度読んでおきましょう。

三時間目

◎「漢字の学習」P2・3の下段を練習しましょう。毎週四時間目に確認テストがありますので、それまで三時間の十問について、しっかり身につけていきましょう。新出漢字の“なぞり”も忘れずに。

〈本時のねらい〉写真と手紙を手にした「僕」の心情を今までの言動と結びつけて読み取ろう。

①教科書のP24L5～P25Lを読み、ワークP九のCの1からP一〇の4までの間に答えましよう。

「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましよう。

②教科書P二五L7～本文の終わりまでを読み、ワークのP一〇のDの1からP一一の最後までの方に答えましよう。

「解答と解説」を使って○付けをしましょう。間違えたところは赤ペンで正しい答えを書きましよう。

③本時はここまです。時間があれば、P二四L5から終わりまでを、もう一度読んでおきましょう。

四時間目

◎「漢字小テスト1」を五分以内で行いましょう（きちんと時間を計ること）。「漢字の学習」を使って自己採点をしましょう。間違えた問題のみをもう一度解き直し、満点が取れるまで繰り返ししましょう。

〈本時のねらい〉「ぐうちゃん」の生き方に対する自分なりの考えをまとめよう。

①「ぐうちゃん」の考え方や生き方について、自分の生活や経験などと比べながら感想をまとめてみましょう。（ヒント① 作品中から、「ぐうちゃん」の考え方や生き方が読み取れる部分を探すことになりませんが、中心は最後の場面の手紙の内容になるでしょう。）（ヒント②「僕」の母親のような堅実な考え方もあります。自由に意見を書いてください。）

②作品中の「ぐうちゃん」と「僕」には現実世界の人物が置き換えられていると読み取れます。次の（ ① ）（ ② ）のあてはまる人物を答えましょう。

☆ワークP一二によると、作品中の「ぐうちゃん」と同じように（ ① ）もまた世界中を旅しており、その様子は重なります。また、教科書P二七の出版によると、本作品は「本書のための書きおろし」とあり、（ ② ）が読む教科書のために新たに執筆されたものだということがわかります。このことから、本作中にある「ぐうちゃん」から「僕」へのメッセージは（ ① ）から（ ② ）へ向けたメッセージでもると、読み取ることができます。（答えは授業再開後）

①	②
---	---

今週の自己評価	4（とてもできた）	3（大体できた）	2（あまりできなかった）	1（全くできなかった）	
「登場人物の思いや考えに思いを巡らせて取り組むことができた」	4	・	3	・	2
1					
「課題についてわかるまで粘り強く取り組みることができたか」	4	・	3	・	2

③今週はここまでです。時間があれば、本文をもう一度読み返しておきましょう。